

ようこそ橿原市立晩成小学校へ

橿原市立晩成小学校

校長 森 博 康

本校は明治7（1874）年の創立で、今年で143年目を迎えることとなります。

創立当初は「培擁館」として発足し、明治9年には「八木小学校」と名前を変更しました。その後、明治18年には「小房小学校」と合併し現在の地に新築しました。

「大器晩成」という郷土の人々の教育への願いを受け止め「晩成小学校」と命名されたと言われていています。先輩たちは、明治・大正・昭和・平成とその校風を受け継ぎ、輝かしい歴史と伝統を築き上げてきました。

校区は、古くからの中街道(下ツ道)と伊勢街道（横大路）とが交差する「札の辻」を中心として発達してきた街道町・宿場町で、現在はJR桜井線、近鉄大阪線・橿原線の鉄道をはじめ、国道24号線や165号線が走る奈良盆地南部の交通の要ともなっていて、近鉄八木駅・八木西口駅周辺は、市役所・県立橿原文化会館・マンション・銀行・商業ビル・飲食店などが立ち並び、毎日人々で賑わっています。また校区の南部には、市立図書館やこども科学館などがある万葉ホールや市民会館、中央体育館などの施設があり、市内外から多くの利用者が足を運んでいます。

本校の教育目標は、「知・徳・体 調和のとれた『いきいきとした子ども』の育成」です。「つよく、やさしく、かしこく」をめざす児童像に掲げ、「学び合い育ち合う学校」「学びの環境が整った学校」「夢と感動のある学校」づくりに励んでまいりたいと思います。また、本年度は「『人と人とのかかわりを深め、主体的に取り組む子の育成』～自己を見つめ、互いのよき認める集団をめざして～」を主題とする実践研究を進めていきます。

最後になりましたが、今後とも保護者の皆様、地域の皆様のご意見をいただきながら、子どもたちの安全と健やかな成長のために、学校、地域、家庭の連携をはかり、地域と共にある晩成小学校教育を進めてまいる所存です。どうぞよろしくお願い致します。